

令和２年度第１回行政評価委員会 会議録

日 時：令和２年７月８日（水）１８時３０分～１９時００分

場 所：伊予市庁舎４階大会議室

出席者：妹尾克敏委員長、西田和眞副委員長、倉澤生雄委員、小倉揮代委員、篠崎加代委員、木本敦委員

事務局：皆川・岡井・曾我部

１ 開会

２ 議事

【説明事項】

（１）令和元年度事務事業評価取組状況について

令和元年度事務事業（５７６事業）の進捗状況を報告。自己判定、一次判定、二次判定まで完了しており、外部評価対象事業（案）が２８事業、本委員会で諮らない低評価・事業廃止と判断した事業（案）が２１事業となった。

（２）意見公募について

広報いよし７月号の意見公募記事、意見公募のホームページを報告。本年度も引き続き、意見公募のホームページ解析を行うこととする（意見公募期間の閲覧者数をカウントし、閲覧者数による対策を練る）。

【審議事項】

（３）低評価・廃止事業について

（事務局）

説明事項の１．事務事業評価取組状況において低評価・廃止事業が２１事業あったことを報告した。内訳は低評価事業が１事業、廃止と判断した事業が２０事業である。今年度諮ってもらう事務事業の中にも低評価事業はあるが、ここに挙げた１事業は昨年度の行政評価委員会で諮った（介保）在宅高齢者家族介護手当支給事業であり、所管課に確認したところ、昨年から大きな事業内容の変更もないことから、異論がなければ昨年審議済みとの判断とし、今回審議の対象としない方向でどうかと考える。

また廃止と判断した２０事業については、事業完了に伴うもの、他事業移行によるもの、施設取り壊しによる廃止など、既に廃止が決定された事業については、意見を参考に改善や事業推進を図ることができないものであることから、評価シートの報告をもって審議にかえる方向でどうかと考える。

(委員長)

低評価事業の1事業、廃止と判断された事業が20事業ということであるが、事務局からの説明のとおり当行政評価委員会に諮らなくてよいという取り扱いをしてよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、その取り扱いをしていただきたい。

○ 既に廃止又は廃止が決まっている事業の報告（低評価No. 10以外）

No. 1 施設整備事業（福祉課）

障がい者グループホーム建設に伴う補助金支出のための事業である。事業の進捗により本年度への繰越事業となったが、補助金の支出をもって事業完了となるため、廃止が決定している。

No. 2 認定こども園施設整備事業（子育て支援課）

中山幼稚園と中山保育園の統合による中山認定こども園の整備及び公立のからたち幼稚園を解体し民設民営の認定こども園が建設されることに対する補助金等の支出のための事業であったが、事業完了に伴い廃止が決定している。

No. 3 就園奨励費補助事業（子育て支援課）

子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園の入園料・保育料の一部を補助する事業であったが、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、事業廃止が決定している。

No. 4 とりのき保育所運営事業（子育て支援課）

昨年度の行政評価委員会においても廃止報告をしているが、とりのき保育所が令和2年4月1日から民営化されたことにより、事業廃止が決定している。

No. 5 中山保育所運営事業（子育て支援課）

No. 2の説明のとおり、中山幼稚園との統合により、令和2年4月1日から中山認定こども園が新たに開設されたので、事業廃止が決定している。

No. 6 ふれあいプラザ運営事業（長寿介護課）

No. 7 デイサービスセンター運営事業（長寿介護課）

昨年度の行政評価委員会において審議した事業である。伊予市高齢者福祉施設再編方針により、ふれあいプラザについては、施設の位置づけの見直しにより他事業への移行に伴う廃止。デイサービスセンターについては、社会資源が充足したことを受け、市が実施するデイサービス事業は廃止が決定している。

No. 8 高齢者協同住居運営事業（長寿介護課）

昨年度の行政評価委員会においても廃止報告をしているが、入居者全員の転居先が決定したため、令和2年3月末で事業廃止が決定している。

No. 9 老人福祉施設建設事業（長寿介護課）

中山地区における新たな老人福祉施設の建設に係る事業である。元あった施設の解体に時間を要しスケジュールが遅延したため、本年度への繰越事業となったが、予定では令和2年10月の事業完了をもって廃止と決定している。

No. 11 双海保健センター管理運営事業（健康増進課）

本事業で管理運営していた建物に上灘保育所が移転することにより、ハード面の管理が不要となったため、事業の廃止が決定している。なお、保健センターのソフト事業については双海地域事務所内に移設され、継続される。

No. 12 中山農林施設管理運営事業（農林水産課）

施設の所管替え及び施設の解体完了等に伴い、事業廃止と判断している。

No. 13 車両基地・貨物駅周辺整備対策事業（都市住宅課）

昨年度の行政評価委員会において審議した事業である。周辺道路の一部が令和2年度の繰越事業となっているが、その完了をもって事業廃止と決定されている。

No. 14 スマートＩＣ整備事業（土木管理課）

中山スマートＩＣは令和2年3月21日に開通した。周辺農道の一部における補修・整備が令和2年度の繰越事業となっているが、その完了をもって事業廃止と決定されている。

No. 15 下三谷工業団地造成事業（経済雇用戦略課）

開発許可に係る愛媛県との協議の中で開発を許可することができない旨の回答があり、これ以上の進展が困難となったため、事業撤退に伴う廃止が決定している。

No. 16 プレミアム付商品券事業（経済雇用戦略課）

国庫補助金を財源に令和元年度に限り実施された臨時的な事業であり、事業の終了に伴う廃止が決定されている。

No. 17 特産品センター管理運営事業（経済雇用戦略課）

No. 18 遊栗館管理運営事業（経済雇用戦略課）

昨年度の行政評価委員会において審議した事業である。特産品センターについては、今後計画的に機能を縮小・廃止する決定がされており、遊栗館については、令和元年度末の施設廃止をもって事業廃止が決定されている。

No. 19 一般事務費（学校教育課）

令和元年度に当市出身の方から寄せられた教育奨励に関する寄附金を受け入れし、基金に積み立てるための事業であり、事業完了に伴う廃止が決定している。

No. 20 小学校空気調和設備設置事業（学校教育課）

No. 21 中学校空気調和設備設置事業（学校教育課）

昨年度の行政評価委員会において審議した事業である。両事業とも事業完了に伴う廃止が決定されている。

**（４）今後の委員会日程及び進行（予定）について
（事務局）**

委員は本年が２年目であるので、行政評価における現状や課題について、大方の様子を理解いただいていると思う。異論がなければ、昨年度と同様、所管課の説明を受けた後、各委員の意見を頂く形で進めたいと考えている。審議日程は事前に提示している日程とし、今後の予定として、第２回から第７回まで６回の評価を実施し、９月中旬には完了、９月末に外部評価意見の確定をしたいと考えている。会議は庁舎４階大会議室で実施する予定としている。

行政評価委員会と並行して、経営者会議を８月ないし９月頃から順次開催し、この行政評価委員会において審議された事業についても１１月上旬に最終判断を行い、１２月議会において議会への報告を行うこととしている。

外部評価に付された事務事業について確認いただきたい。今年度対象となる事業は、二次判定者が外部評価に付した事業、昨年度各委員により選定された事業又は一次判定あるいは二次判定において評価の低い事業で合計２８事務事業となっている。

なお、７のマイナンバー事務については、昨年の選定の際に、平成３０年度の外部評価段階に比べ次の段階に進んでいけばという意見があった。この間、国のマイナポータル本格運用やマイナポイントの付与等の新たな取り組みに合わせて、市も交付促進に向けた取り組みを実施しており、一定程度の進展があると思われる。

また、１８の防疫等対策事業については、昨年の選定の際に、中身を確認し、評価すべき事業であればという意見があった。本事業は災害時における被災家屋の消毒やねずみ・ハエ・蚊等の害虫発生時における苦情の対応及び駆除等により、感染症の発生予防とそのまん延の防止を目的としたものである。

この他に委員が外部評価に加えたい事業があれば、適宜加える形としたい。
以上、審議いただきたい。

(委員長)

委員会の審議手法と開催日程（案）及び対象事業の確認をいただきたい。審議手法は昨年度と同様である。開催日程は提示の予定でいくので、スケジュールをおさえてもらいたい。対象事務事業については少ない回で5事業、多い回で7事業となっている。委員は昨年度からの引き続きだから、心配はないだろう。何か意見・質問等がある方はいるか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、その取り扱いをしていただきたい。次回は2週間後の7月22日、第3回はさらに2週間後の8月5日、お盆を挟み第4回は8月19日という流れとなる。今後微調整はあるかもしれないが、日程及び評価事業数は基本的にはこれで進んでいく。

(6) その他

(事務局)

ただ今日程に関し承認いただいたので、説明を行う所管課、所管部長には早速報告の上、スケジュール調整を行う。

第2回の審議資料について、7月10日に発送を予定している。第3回以降については、昨年同様、一回前の会で資料及び議事録を配布するように考えている。

(委員長)

本年度も部長以下担当課長等も参加ということでよいか。

(事務局)

その予定である。

(委員長)

了解した。委員からその他に何もなければ、本日は以上で議事を終了する。協力に感謝申し上げる。